

朝鮮共同労働組合第四回大会

実行方法

各決議文と政府當局に突き出す、日帝党を通じて出兵反対の運動に努力すること。

理由

中華民国民族が、中華国獨立のための、國民革命軍を起し、世界帝國主義の力に打ち勝つた。張作霖其他の軍閥打倒のため北伐戦を進めてより、日本政府の取れる対支政策は悉く露骨なる対支干渉を示した。

殊に北伐軍の山東省に入ると、田中反動内閣は、並に租界地保護を名として、第六師團を出兵し、濟南事件起ると各名族第三師團を動員し、今三方餘の大兵は派遣せられてゐる。かゝる出兵費は既に四千万を費した。然るに中華國民革命は、列國の干渉と重慶とを踏み越して、既に世界各大國に、青天白日旗を翻へしに至った。

田中反動内閣は、此の形勢に拘はらず、尙國民革命軍滿州に入ると恐れ、兵此滿州に及びば、直ちに又那兵の武装解除を武力を以て断行すべしと聲明してゐる。山東省に留邦人の保護は、既に現地保護主義に依らずとも、二依り安全地帯に無事避難保護を以て得ることには明白なる事實である故に多額なる四千万圓の國費を費消し対支非干渉の國論を排して遂に出兵を断行したる、田中内閣の反動政策は日本大資本家の帝國主義的

政策の現実暴露である。

見よ、田中内閣が三井財閥を代表し、三井は支那に尤も深い利害關係を有すること、現商工大臣中橋が日清汽船重鎮なること、外務次官森格の山東省に殊殊の利害關係を有すること、即ち滿州を中心として廿億以上の大資本家の投資があるばかり、と出兵問題惹起の基礎をなすものである。

日本政府の対支干渉政策は、帝國主義的搾取に若しむ國民民族の獨立と解放とを積極的に挫折せしめんとす。従つて中華民国全無産階級解放を暴壓せんとするものであつて、延いては全世界無産階級の解放運動を暴壓せんとする反動政策である。我等はかくの如き田中反動内閣の出兵政策に絶対反対に反対する。

朝鮮労働者差別待遇即時撤廢の件

理由

日本政府の朝鮮民族に對する彈壓についての訛彈は別として、内地に在る朝鮮労働者諸君に与へつゝある冷酷なる放任政策は我等労働階級の絶対反対する處である。現在に於て